

最新出土品展

2020

さいたま市



▲ 縄文土器の出土（南中丸下高井遺跡 / 見沼区）

真福寺貝塚(岩槻区)
からの出土品



▲ 岩版



▲ 骨角器、装飾品、石鏃、耳飾り

主催：さいたま市教育委員会 協力：さいたま市遺跡調査会

お問い合わせ先：生涯学習部文化財保護課 TEL 048-829-1724 / FAX 048-829-1989

展示している遺跡の紹介

(市立博物館以外の会場では、展示スペースの都合上、展示していない遺跡があります)

さいたま市内には1100を超える遺跡があり、毎年10件以上の発掘調査を行っています。これらの調査で見られた、土器や石器などの「遺物」(昔の人々が使ったもの)や、住居跡や古墳などの「遺構」(昔の人々の住まいの跡やお墓など)は、さいたま市の歴史を語る上で欠かせない資料です。

令和元年度には、市内の16の遺跡、19か所で発掘調査を行いました。今回の展示では、このうち14の遺跡について、調査の成果を市民の皆様いち早くご紹介します。



縄文時代後期の土器の出土状況



貝塚の中から出土した獣骨



貝層の剥ぎ取り標本

解明が進む国指定史跡

しんぶくじ

真福寺貝塚

(岩槻区城南三丁目)

令和元年6月25日～令和2年1月7日調査

東武アーバンパークライン岩槻駅から南東に約1.6kmに所在する遺跡です。縄文時代後期から晩期の貝塚や住居跡、そして水辺の活動場所である低湿地(泥炭層)が良好な状態で保存されています。

こうした貝塚、集落跡、低湿地(泥炭層)の3要素が一体となって保存されている遺跡は、関東地方では本遺跡が唯一であり、その稀少性が認められ、1975年(昭和50年)に国指定史跡となりました。

さいたま市では史跡を整備するための事業の一環として、平成28年度から史跡内の発掘調査を継続して行っています。平成30年度までは、史跡東側の貝塚や住居跡が存在する居住区域やその内側にある窪地状の地形の調査を実施し、縄文時代後期の貝塚や、住居跡の一部を確認しました。

そして令和元年度からは、史跡西側の調査を開始しました。本地点は、史跡東側にある居住区域と史跡西側に広がる低湿地(泥炭層)の中間地点にあたり、90年以上の調査の歴史がある本遺跡の中で、はじめての調査地点にあたります。

調査の結果、史跡西側に広がる低湿地(泥炭層)に面した谷際にも、保存状態が良好な貝層が遺されていることや、縄文時代後期の住居跡が存在することが明らかになりました。

さらにこの谷の縁辺部では、縄文時代後期と晩期の各時期に、谷を埋めるように、土器や獣骨、貝を多量に含む土の層が厚く堆積している様子が確認されました。

また、令和元年度は発掘調査以外の取り組みとして、貝層の剥ぎ取り標本の作製を行いました。この貝層は平成28年度から平成30年度まで調査を行っていた東側の居住区域にあたる地点で見つかったものです。そのほかに近隣の小学生を対象とした体験発掘を行いました。

縄文時代前期の住居内貝塚と古墳の周溝

そばがいと 側ヶ谷戸貝塚

(大宮区三橋四丁目)

平成31年4月1日～令和元年11月2日調査



住居跡から出土した貝塚

JR京浜東北線大宮駅から南西に約2.5kmに所在する遺跡です。調査の結果、縄文・弥生・古墳時代の住居跡や、古墳の周溝などが見つかりました。

今回の調査で見つかった遺構の時期から、この場所は古墳時代前期までは主に居住地として利用されていましたが、古墳時代後期になると古墳が造られるようになっていったことがわかりました。

縄文時代中期の集落の跡

みなみなかまるしもたかい 南中丸下高井遺跡

(見沼区大字南中丸)

令和2年3月3日～3月30日調査



土器埋設炉のある住居跡

JR大宮駅から東に約2.4kmに所在する遺跡です。縄文時代中期の住居跡と土器や土製品、石器などが見つかりました。発見された住居跡には、床に縄文土器の上半分を埋めて作ったいろり跡がありました。これは土器埋設炉といい、縄文時代中期の関東地方で見られるものです。

浦和別所小学校の校庭から発見！

べっしょ 別所遺跡

(南区別所二丁目)

令和元年9月10日～令和2年3月19日調査



小学生による体験発掘の様子

JR埼京線武蔵浦和駅から北に約0.4kmに所在する遺跡です。仮設校舎建設に先立ち、発掘調査を実施しました。

縄文時代、弥生時代、古墳時代、中世の遺構と遺物が見つかり、中でも弥生時代後期の遺構が多く発見されました。また調査期間中、浦和別所小学校6年生の児童の皆さんが発掘調査を体験しました。

円筒埴輪を伴う古墳の周溝

しらくわみやこし 白楸宮腰遺跡

(桜区大字白楸)

令和元年11月18日～12月5日調査



周溝跡から出土した円筒埴輪

JR埼京線与野本町駅から西に約2.0kmに所在する遺跡です。調査の結果、古墳時代の周溝が発見され、そこからは円筒埴輪の破片が見つかりました。

調査地点は、二つの古墳の中間に位置していますが、今回の調査によって、ここに別の古墳が存在していた可能性が高まりました。

古墳時代前期の住居跡

じょうだいじびがし
上太寺東遺跡

(中央区新中里一丁目)
令和元年6月4日～6月20日調査



古墳時代の土器の出土状況

JR埼京線南与野駅から北東に約0.7kmに所在する遺跡です。この遺跡からは縄文時代と古墳時代前期の住居跡と遺物が見つかりました。

古墳時代前期の住居跡からは、小型の広口壺や台付甕の下半部などの遺物が見つかりました。これまで、縄文時代の遺構・遺物は確認されていましたが、古墳時代にも人々が生活していたことが明らかになりました。

中世の火葬跡から完形の器(うつわ)出土

なかの だなかほら
中野田中原遺跡

(緑区大字中野田)
令和元年9月17日～12月25日調査



中世の火葬跡

埼玉高速鉄道浦和美園駅から北西に約1.0kmに所在する遺跡です。今回の調査では、縄文時代・弥生時代の遺構のほかに、中世の火葬跡15基などが見つかりました。

この中世の火葬跡からは、ほぼ完全な形の陶器碗が出土し、その周辺からは板碑(中世の関東地方でよくみられる石製の供養塔)の一部が見つかりました。

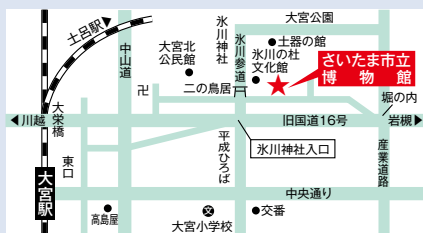
各会場のご案内

メイン会場

さいたま市立博物館 特別展示室

(さいたま市大宮区高鼻町2丁目1-2)

- 令和2年 9月8日(火)～9月22日(火)
- 9時～16時30分
(14日(月)は休館)



▶ 大宮駅東口より徒歩15分

コーナー展示

桜区役所1階 展示スペース

(さいたま市桜区道場4丁目3番1号)

- 令和2年 10月2日(金)～10月30日(金)
- 8時30分～17時15分
(月～金・25日(日曜開庁日))



- ▶ 「浦和駅西口」より「桜区役所」「大久保浄水場」行きバスで「桜区役所」下車すぐ
- ▶ 「中浦和駅」より「桜区役所」行きバスで「桜区役所」下車すぐ

ヨク=シ2 3階

(さいたま市大宮区吉敷町4丁目263-1)

- 令和2年 11月7日(土)～11月20日(金)
- 10時～21時



▶ さいたま新都心駅東口すぐ

ご来場の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設での感染拡大防止策へのご協力をお願いします。
また今後、各会場での会期及び展示時間は変更になる場合があります。